

平成30年度 小美玉市立堅倉小学校 学校関係者評価書

小美玉市立堅倉小学校 学校関係者評価委員会

1 学校関係者評価委員会の総評

- 各学年とも落ち着いており、意欲的に学習に取り組む姿が見られた。グループ学習などが多く取り入れられており、活発に意見交換する姿が見られた。掲示されているプリントや版画作品、ノート等にも、児童一人一人の努力や成果が表れていた。
- 保護者の生活習慣が変わり、あいさつ、規範意識、思いやり、言葉づかいやマナーの在り方など、学校で指導することが増えている。共働きの家庭が増える中、家庭との連携の在り方を工夫しながら今後とも子どもたちを指導してほしい。
- 子どもを取り巻く環境は厳しく、特に家庭環境が変化してきている現在、先生方の負担は計り知れないものがあると思われる。そういう環境の中だが、健康に留意して子どもたちのために協力しながら今後も頑張っていってほしい。

2 分野別評価

分野	学校の取組に関する評価と今後の改善点
学習指導の工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ どの学年においても、グループでの話し合いや活動が積極的に取り入れられ、その中で子どもたちが教えあったり活発に話し合ったりする姿が見られ、すばらしい。学びあい、伝え合う活動を重視した授業づくりにおいては、十分達成していると思うが、まだ、「教えて」と言えない児童もいるので、更なる向上を目指してほしい。 ○ 学校評価のアンケートから、先生方の自己評価は低いですが、子どもたちや保護者からの評価を見ると、頑張っている様子がわかる。学力の向上は、数字だけを見るとなかなか難しいと思うが、基礎基本の定着と、身に付けた知識や技能を活用する力の向上にさらに力を入れてほしい。
温かな人間関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校生活が楽しい」と回答する児童が89%、保護者が93%というアンケート結果や、学校行事での児童の様子から、児童と児童、児童と教師間の良好な人間関係のもと充実した教育活動が展開されているように感じる。 ○ いじめアンケート等も毎月実施されているので、今後も継続し、いじめの早期発見をお願いしたい。道徳の授業等を活用し、互いに思いやりの心を持ち、相手の立場になって考えられる児童の育成に努めてほしい。 ○ 昨年度に引き続き、児童会が中心となって進めてきた「堅倉しぐさ」の取り組みがすばらしいと感じた。1年間かけて名人を目指したことが学校全体のマナーアップにつながっていると感じた。
家庭や地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページで学校の出来事などや行事などを毎日更新し、きめ細かく伝えているのがすばらしい。さらに、学校便りの地区内回覧等、学校側からの情報提供は十分になされていることを感じる。せっかくのよい取り組みなので、ホームページを閲覧している保護者の割合等アンケートで調べてみるのも良いのではないかと思う。